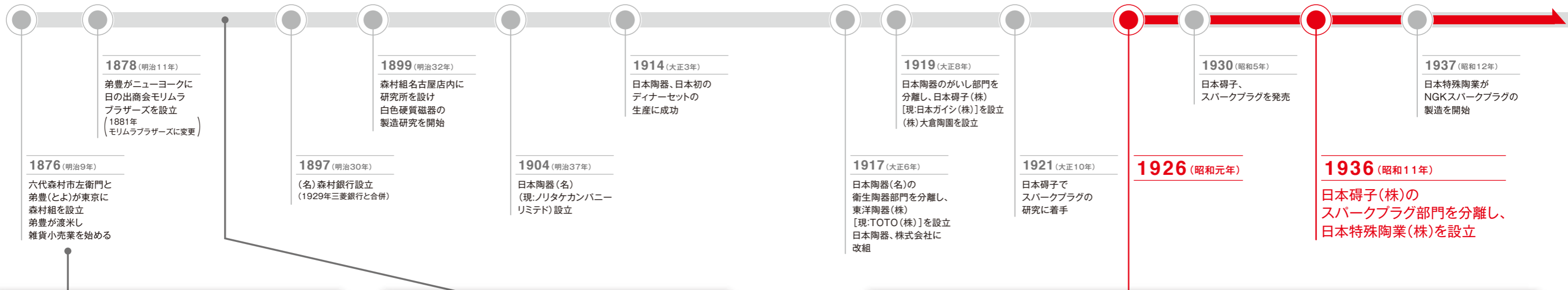


What's Next?

PHILOSOPHY

森村組誕生から当社へのあゆみ



正直と熱心

良い品物を買やすい価格で納期通りにお届けする。モリムラブラザーズの誠実な姿勢は文化の異なる米国でも評価され、信用を築きました。明治政府の支援を断り独立自営の精神で始めた小さな貿易は、正直で熱心ということが評判となり次第に大きな事業へと育っていきました。



(左)森村豊・(右)森村市左衛門

良品でめざす お客さま満足

(左)大倉孫兵衛・(右)大倉和親

「お客さまに渡してから役に立たないようなものは売らない」

仕入れを務めた大倉孫兵衛は、品物の面で誠実さを貫きました。その誠実さは長男和親に受け継がれます。和親は「良品の供給・需要家の満足こそが掴むべき実体」であると説き、「良品主義」のもと森村の製陶各社を発展させました。



均一な製品を総員参加で

「我々には千に一つの不良品だったとしても、それを買ったお客さまにとっては不良率100%だ」

食器から工業製品への進出によって、製品の均一性がより厳しく求められるようになりました。江副孫右衛門は、お客さまの求める性能を常に発揮するバラつきのない製品を実現するため、社員に規律と高い参加意識を要求しました。良品を生むために、総員が全職場でその職務を完遂すべく「ものづくり」に打ち込む理念は、今も日本特殊陶業に脈々と受け継がれています。



江副孫右衛門 (日本特殊陶業初代社長)

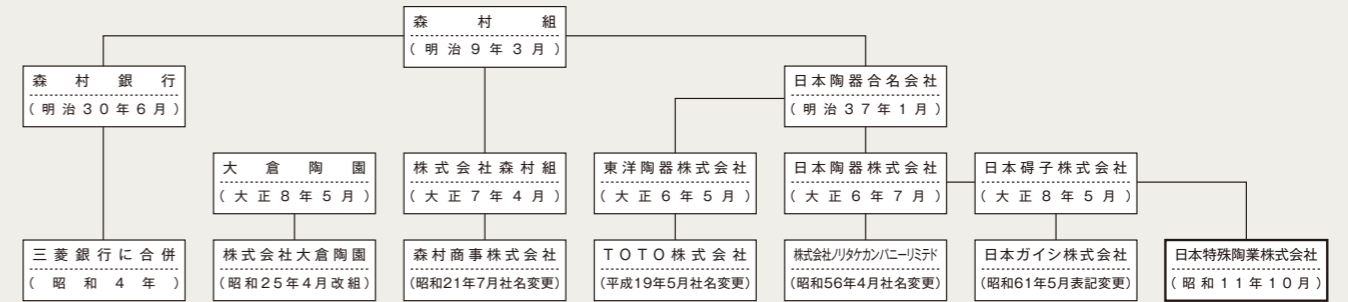
受け継がれていく意思

日本特殊陶業は、1936年に設立されました。さらにルーツを求めて森村グループの祖、森村市左衛門らが起こした森村組(1876年)までさかのぼると、140年以上の歴史があります。業祖森村市左衛門は、正直で熱心な商人でした。海外に流出した財を取り返すと決意し、国のために海外貿易に挑みました。やがて事業は陶磁器製造に至り、森村グループが生まれます。その運命の流れのひとつに、私たち日本特殊陶業があります。



森村市左衛門

森村グループ沿革



挑戦が未来の価値を生む。 当社の歴史は、新分野へのチャレンジの歴史です。

1936年にスパークプラグ製造からスタートした当社の歴史は、新しい技術への挑戦の歴史でした。製品開発の過程で獲得した技術やノウハウがさまざまな応用技術を生み、次々と新たな事業へと成長していきました。セラミックスをコア技術としたものづくりのスピリットは当社のDNAに脈々と受け継がれており、将来の事業展開に向けた新しい技術の芽が育ちつつあります。

